

オーロラ観望に月は嫌われます。淡いオーロラは天の川ぐらいの明るさしかないからです。しかし、明るいオーロラが出現すると、月も名脇役になることがあります。この9月中旬のオーロラもそんな名場面を創り出していました。

オーロラはからり明るいバンド・オーロラです。オーロラの最下端が桃色に見える時は、相当に太陽風エネルギーが強い証拠です。この桃色のバンドは、肉眼でも観察でき、カーテンを振って揺らすように激しく動いて見えます。ちょうど雲のすき間にその桃色のバンドが写り、更にオーロラバンドの切れ目に月が架かっているのが素晴らしいです。

9月のオーロラを実際に観に行きたい理由の一つは、まだ湖が凍っていないということです。その湖面に、オーロラが反映することがあるのです。この写真でも、湖面の一部にオーロラの反映が写っています。画面中央より左寄りの森の上の明るみは、数十 km 離れた「イエリバーレ」の街の灯火です。

(2023年9月中旬/スウェーデン北部・ヨックモック郡・ポルユス)

